

はじめに

本学は昭和46年に幼児教育学科（現 幼児保育学科）をもって開学し、昭和62年に経営情報学科（現 ライフデザイン学科）、平成21年には看護学科を設置した。

その後、看護学科は平成28年4月に四年制大学へと移行し、平成30年3月にすべての学生が卒業したのを受けて、閉科となった。また、ライフデザイン学科は平成30年度の募集を停止し、今年度は2年次学生のみが在籍している。一方で、31年度に介護福祉学科を設立すべく、現在、文部科学省に設置許可申請書を提出しているところである。

少子高齢化が急速に進む厳しい社会情勢のなかで、本学もさまざまな変化を遂げているが、その中で変わらず重視しなくてはならないのが教育の質の向上である。その取り組みとして、平成29年度は前学長 外崎充子のリーダーシップの下、全教員が意識してアクティブ・ラーニングに取り組み、一定の成果が確認された。これについては今後も継続して推進する。

また、新しい流れとして国際化の推進があり、平成29年度には学生の語学留学の増加という成果を得ることができた。国際化は本学の方向性の重要な柱のひとつであり、今後、多様な形で進展する見通しである。

認証評価については平成21年と平成28年に、一般財団法人短期大学基準協会による第三者評価を受け、いずれも「適格」と認定されている。

本報告書は教育・研究・地域貢献と学校運営の現状を把握し、改善、改革を推進していく上で貴重な資料になるものである。

報告書の作成に当っては教育職員、事務職員、法人関係者など本学のすべての構成員の方々にご協力をいただいた。ご尽力くださった各位に衷心よりお礼を申し上げます。

平成30年8月

八戸学院大学短期大学部

学長 法官新一

目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. 自己点検・評価の基礎資料 | 1 |
| 2. 自己点検・評価の組織と活動 | 11 |
| 【基準Ⅰ 建学の精神と教育の効果】 | 15 |
| [テーマ 基準Ⅰ-A 建学の精神] | 15 |
| [テーマ 基準Ⅰ-B 教育の効果] | 17 |
| [テーマ 基準Ⅰ-C 内部質保証] | 22 |
| 【基準Ⅱ 教育課程と学生支援】 | 27 |
| [テーマ 基準Ⅱ-A 教育課程] | 27 |
| [テーマ 基準Ⅱ-B 学生支援] | 36 |
| 【基準Ⅲ 教育資源と財的資源】 | 53 |
| [テーマ 基準Ⅲ-A 人的資源] | 53 |
| [テーマ 基準Ⅲ-B 物的資源] | 62 |
| [テーマ 基準Ⅲ-C 技術的資源をはじめとするその他の教育資源] | 64 |
| [テーマ 基準Ⅲ-D 財的資源] | 66 |
| 【基準Ⅳ リーダーシップとガバナンス】 | 71 |
| [テーマ 基準Ⅳ-A 理事長のリーダーシップ] | 71 |
| [テーマ 基準Ⅳ-B 学長のリーダーシップ] | 74 |
| [テーマ 基準Ⅳ-C ガバナンス] | 79 |
| 【基礎データ】 | 85 |